

◎地域総合診療科活動実績：

1. 診療実績

地域総合診療科年間入院症例数*：

2013年度 411例**

2014年度 410例

2015年度 431例

*：どの患者を地域総合診療科として扱うかに厳格な基準はなく、各々、その病態と想定される診療、社会的背景も併せて、その都度地域総合診療科として入院させるか、内科、外科として入院させるかを決定しています。地域総合診療科スタッフ、または研修医とスタッフ、スチューデントドクター(必須の地域医療実習を終了し、基準の知識・技術水準をクリアし、自主的に追加で地域医療実習を希望した学生)とスタッフが組になって担当、通常初期臨床研修医は3～5名程度の主治医、スチューデントドクターは1～2名程度の症例をスタッフと共に担当しています。

**：2013以後院内標榜として診療録上も定義、それ以前は実際には院内診療科として活動していたが診療録上区別されておらず症例数の提示なし

2. 主な学術業績

論文発表

1. Moriwaki Y, Otani J, Okuda J, Niwano T, Sawada Y, Nitta T, Ohshima C. Successful nutritional support for a dysphagic patient with massive cirrhotic ascites and intrathoracic stomach using percutaneous endoscopic gastrostomy (PEG). Nutrition 2014;30:1456-9.
2. Moriwaki Y, Otani J, Okuda J, Niwano T, Maemoto R. Safe percutaneous endoscopic colostomy for severe constipation with use of the introducer method. Endoscopy. 2015;47 Suppl 1 UCTN:E358-60.
3. Moriwaki Y, Otani J, Sawada Y, Okuda J, Niwano T, Nitta T, Ohshima C. Percutaneous transhepatic duodenostomy for a gastrectomy case with CT guidance and real-time visualization by an ultrasound and endoscopy. Nutrition. 2015 31:1168-72.
4. 大谷順：【徹底ガイド 胃ろう(PEG)管理 Q&A】PEG 造設法 PEJ って何?どうするの? ナーシングケア Q&A 2011;37:56-57.
5. 大谷順：【処方設計にチャレンジ これでわかる静脈栄養法】応用編(第1章) 患者モニタリングと合併症対策 輸液ルートに関連する合併症. 薬事 2011;53:1539-1543.
6. 大谷順：地域医療最前線 No.42 雲南市立病院. 島根の地域医療 2011;37:1-2.
7. 大谷順：【研修医の確保・養成(後編)】 当院の医師確保対策とその成果. 全国自治体病院協議会雑誌 2012;51:1714-1718.
8. 大谷順：訪問看護管理下の在宅高齢者を対象とした経口補水液 OS-1 の水・電解質補給効果の検討. 機能性食品と薬理栄養 2012;7:175-185.
9. 大谷順：【管理栄養士が知っておきたい 栄養療法 なるほどイラスト事典】 栄養療法と合併症 リフィーディング(refeeding)症候群. Nutrition Care 2012;5:346-347.
10. 大谷順：わすれがたき故郷のために. DtoD コンシェルジュ、総合メディカル、<https://www.dtod.ne.jp/shimane/shimane06.php>
11. 森脇義弘、奥田淳三、庭野稔之、澤田芳行、大谷順：消化器・一般外科外来における亜腸閉塞状態への大建中湯の使用経験. 臨と研 2013;90:1652-1655.
12. 大谷順：【地域包括ケア病棟は医療を変えるか】 当院における地域包括ケアシステムへの取り組みと本システムへの思い. 病院 2015;74:23-27.

口演発表

1. Ryuichi Ohta, Akira Shimabukuro, Mitsuyo Kinjo: A case of rheumatoid arthritis following ciguatera poisoning. Annual Congress of American College of Physicians Japan Chapter (米国内科学日本支部年次総会) 2016, Kyoto, 2016.6.
2. 大谷順：オーガナイズドセッション：医療過疎地に対する、より効果的な医師確保対策とは？ 医師不足に対する当院の試みとその成果. 第 51 回日本医療・病院管理学総会、京都 2013.9.
3. 森脇義弘、奥田淳三、前本遼、永瀬正樹、大谷順：シンポジウム 4：超高齢化社会における医療資源投入のあり方～特に救急医療について 高齢化社会での地域医療資源再分配における地方小規模市町村病院の貢献の可能性：特に消化器関連病態での医療資源再分配. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会、博多、2014.10.
4. 森脇義弘、奥田淳三、象谷ひとみ、大谷順、永瀬正樹、笠芳紀：シンポジウム 5：腹部疾患に対する初期診断と初期治療－総合診療医の役割－ 非都市部医療過疎地域での外科系医師参加型の兼任総合診療科. 第 52 回日本腹部救急医学会総会、東京、2016.3.
5. 本田正宏、澤田芳行、大谷順：PC 操作に不慣れな職員を抱える中山間区病院における情報の共有化. 第 18 回日本緩和医療学会学術大会、横浜、2013.6
6. 森脇義弘、奥田淳三、大谷順：消化器外科医による一般外科・総合診療の経験：医師不足地域での総合診療への一般外科技術の貢献. 第 12 回日本消化器外科学会大会、第 22 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2014)、東京、2015.10.
7. 森脇義弘、大谷順、奥田淳三、前本遼：Acute care surgery を中心とした地方非都市部での外科医の貢献. 第 115 回日本外科学会定期学術集会、名古屋、2015.4.
8. 森脇義弘、奥田淳三、象谷ひとみ、大谷順：高齢者巨大食道裂孔ヘルニア縦隔内胃への簡便、迅速、安全な経口内視鏡下での経皮内視鏡的胃瘻造設術. 第 13 回日本消化器外科学会大会、第 23 回日本消化器関連学会週間 (JDDW2015)、東京、2015.10.
9. 森脇義弘、奥田淳三、象谷ひとみ、大谷順、永瀬正樹、笠芳紀：医療資源過疎地域での高齢者消化器関連病態救急医療の適正化. 第 43 回日本救急医学会総会・学術集会、東京、2015.10.